



進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第 6 号

令和 7年 11月 14日 発行

高等部3学年後期産業現場等における実習（校外実習）

高等部3学年は、9月8日（月）～9月19日（金）の9日間、「後期産業現場等における実習」が企業13カ所、A型事業所1カ所、B型事業所・自立訓練7カ所、生活介護事業所8カ所の計29カ所で行われました。3年生にとって最後の実習ということもあり、生徒たちは将来の進路先の選択・決定を意識して取り組みました。生徒が取り組んできた実習での感想を紹介します。

私の実習先は、北都オーディオ株式会社です。仕事内容は、箱詰めです。段数に気を付けながら箱詰めすることを頑張りました。課題であるコミュニケーションに関して、自分から挨拶をすることや相手に伝わる声の大きさをで挨拶や返事をすることが難しかったです。今後の学校生活では、自分から相手に伝わる声の大きさをで挨拶をすることや声を掛けられる前に、自分から報告や相談ができるように頑張っていきたいと思います。

（一般企業・高等部3年女子）

私は、株式会社一歩で実習をしました。仕事の内容はパソコンや小型家電の解体、分別、内職です。2年生の後期現場実習で実習させていただいたときよりも、解体できたパソコンの台数が増えました。課題は、ドライバーを使って手を痛めてしまったことです。学校生活で頑張ることは、握る際の力加減を覚えること、不安なことや心配なことをすぐに相談できるようにすることです。

（就労継続支援 A 型事業所・

高等部3年男子）



ウエルシア（企業）



Do3（自立訓練）



工房阿列布（B型）



天真庵（生活介護）

就労や支援に関する情報

～ジョブコーチとは？～

職場で実際の職務内容や人間関係を踏まえて、具体的な助言や事業所との調整などを行う就労支援の専門家です。

福島障害者職業センターのジョブコーチのほか、地域の就労支援機関に所属しているジョブコーチがいます。

本校の卒業生もジョブコーチ支援を受けて企業での就労定着につながっています。

卒業生の話を聞く会

高等部では毎年「卒業生の話を聞く会」と題して、本校を卒業した先輩をお招きし、在学時の進路決定までについてや卒業後の仕事や生活についての話を聞かせていただいています。今年度は9月26日（金）に卒業生3名と、卒業生が働いている企業や事業所の方から貴重なお話を聞かせていただきましたので、そのお話の内容を一部ご紹介します。

会の後、生徒からは「働くために必要な力について学ぶことができた。」「メモを取ることを心がけたい。」などの感想が聞かれました。先輩からのアドバイスをこれからの生活の中で生かしてほしいと思います。



猪狩孝太郎先輩

進路先：㈲とまとランドいわき

主な仕事内容はトマトの栽培、収穫、販売所での作業です。ハウスはかなり広く、夏はとても暑いので熱中症に気を付けながら仕事をしています。体力が必要な仕事です。休み時間には、天気の話など仕事に関係のある話題で自分から職場の人に話しかけてコミュニケーションをとるように心がけています。

在校生の皆さん、在学中からいろいろなことに挑戦してください！



猪狩葵先輩

進路先：就労継続支援 A 型 (株)一歩

主な仕事内容はパソコンの解体作業と外注の軽作業です。解体などの細かい作業からパソコンを運ぶ力作業もあり、体力・集中力がとても必要な仕事です。休み時間には、絵を描いたり仮眠を取ったりなど、自分の好きなことをして息抜きをしています。

在校生の皆さん、友達や先生と沢山コミュニケーションをとって、有意義な学校生活にしてください！



金子月先輩

進路先：就労継続支援 B 型 虹のかけはし

主な仕事内容はパン作りです。パンの成形や袋詰めなど、様々な仕事に取り組んでいます。また、食品を扱う仕事のため、衛生面や身だしなみに気を付けています。お客様の「美味しい。」という一言にやりがいを感じています。

在校生の皆さん、仕事は体調を整えることがとても大切です。早寝早起きを心掛け、三食しっかり食べるようにしましょう！